

東京教区時報

第1224号
2011年10月9日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

「み手の中で」なんと暖かい・幸せな言葉でしょう。神様の…、イエス様の…、両親の…、そして豊かで安全な社会の中で等々、心地の良い優れた環境の中に生きてい・過ごしたいと想うのは多くのの人に共通する願いだと思います。

イエス様の傍らで、喜びに溢れ、静かにお話をきくマリヤの姿、一人一人の為に忙しく立ち働くマルタの姿、多くのキリスト者はマリヤの姿を『羨ましい』と思っているのではありませんか。確かにイエス様のみ手の中で「至福の時」を過ごすマリヤの姿はキリスト者の憧れです。少し乱暴な考え方もありませんが、マリヤの姿勢を祈りの生活（聖餐式）にマルタの生き方を日常生活に譬えらると、私たちの人生・生活には、マリヤもマルタも共に必要であり、一方だけを選択することはできません。当たり前のごとく

《み手のなかで》

がんばろうクリスチャン

伝道師 橋本 守

が、日常生活の確立は大切なことで、家庭を築き、家族を守り・育てることは主のみ心になつていこう。

ところが最近、生活条件や労働環境が悪化し、家庭や教会生活を維持・継続することが難しくなっています。しかし主日に教会へ行くことは一人一人のキリスト者が、受洗の際、イエス様と交わした「楽しい約束」のはずであり、マリヤの至福の時に相通じるものと思います。

私はキリストの生命に与る聖餐式にこそ「イエス様のみ手の中にある」ことを実現できると思っています。にもかかわらず、現実には、イエス様との約束は守られず日常生活に忙殺されてか、主日に教会に来ない・来られない信徒が増えているのはどうしたことでしょう。（三光教会勤務）

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

司祭 ウイリアム ハーゲット
9月19日逝去、75歳。1992年から1998年まで聖オルバン教会牧師を務められた。召された魂のうえに主の平安がありますように。

10月の代祷・信施奉献先
教役者緊急援助資金のため
(10月第3主日) 社会事業の日
(10月26日に最も近い主日)
浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため 月島聖公会のため 教区子どもたちへの活動のため
《奉献先から》
動き始めた月島聖公会
月島の主日礼拝は、20名前後に増加してきました。祈りの輪が少しずつ広がっています。

夏には聖ルカ看護大の学生や聖ルカ保育園の先生たち7人の若者

- 今週・来週の予定
10月9日～22日
- 9(日) 聖霊降臨後第17主日
 - 11(火) 銀座朝拝会
 - 13(木) 信仰と生活委員会
財政委員会
浅草特別委員会
 - 14(金) 広報委員会
外濠G牧師協議会
 - 16(日) 聖霊降臨後第18主日
主教巡回
聖オルバン教会
 - 17(月) 常置委員会
 - 18(火) 聖職養成委員会
 - 19(水) 教役者レクイエム
 - 20(木) 城南G牧師協議会
浅草特別委員会
ハラスメント防止委員会
フェスティバル実行委員会反省会
 - 21(金) 下町G牧師協議会

が、フィリピンの海辺の小村に行き、植林や海岸掃除をし、奨学金プロジェクトも開始しました。自然以外何もない村で生きる事の意味を問い直す時になりました。浅草聖ヨハネ教会の給食活動に参加し、月1回ですが百人分の食事を作る事も始めました。「聖ルカ子ども村」は、地域の子ども会ですが、

毎回20人ほどが集い、集団遊びや秋川溪谷に出かけたりします。少しづつ動き始めました。
(牧師 神崎雄二)

とこしえの平安
8月31日 石川 林子(81)
9月1日 半田 ぎん(83)
聖アンデレ
聖霊

常置委員会報告 (9月21日)

* 2012年にカンタベリー大聖堂で開催される新任主教研修に参加予定など主教報告

* 11月墓地礼拝の準備、登記等諸手続きの進捗状況、8月財務諸表、各委員会の活動報告など、主事等の報告

* 10月に開催される人権担当者協議会に人権委員会より派遣することを確認

* 大斎克己献金国内伝道強化プロジェクトの選定基準の改訂と申請書送付期日についての文書を管区より受領

* 神田キリスト教会より収益事業の中長期計画の報告

* 財政委員長より教区財政の現状と今後の方策についての提言を受領

* その他

「書記」

こどもの聖歌創作ワークショップ第2回 「こどもの聖歌集」 編纂にとり組む信仰と生活委員会が、「こどもたちに伝えたいメッセージ、一緒に歌いたい歌を私たちの手で創りましょう!」と企画 内容は 創作詩やアイディアを深める 作曲の実例や手引きの提示。10月15日(土) 14時、池袋聖公会 参加無料。詳細はチラシ参照 照会 教区事務所・宣教主事。

教区教役者会主催「東日本大震災を覚えての聖餐式」 10月16日(日) 18時、主教座聖堂 参加歓迎
KAPATIRAN フェスタ2011! カパティラン

の活動のためのチャリティイベント。かねて出店・ボランティア参加を呼びかけ準備したフェスタは22日(土) 11時~15時、聖アンデレ教会・アンデレホールで。入場無料。ダンス、歌、バザー、ゲーム、食べ物・雑貨販売、福引きなど多彩なプログラムで来場大歓迎。照会 03(3432) 6449・同事務局。

東京に避難する方々のためのチャリティ・デイ 教区・東日本大震災支援対策本部では原発事故の関係で、ほとんど着の身着のまままで東京に避難され、厳しい生活を余儀なくされている方々(主として母子)のために開催する行事に協力を呼びかけている。11月3日(木・休) 11時~15時、聖アンデレ教会。協力内容は、バザー

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

《今、この教会では...》
東北教区

郡山聖ペテロ聖パウロ教会

3・11東日本大震災は当教会にも大きな被害をもたらしました。幸い80年前に建立された歴史あるゴシック風の聖堂はほとんど損傷がなく一安心でしたが続き棟の会館は被害が大きく、市の調査でも全壊と判定され、すぐにも取り壊し、建て替えが必要な状態です。隣接する牧師館も補強修繕が必要であり、少しずつ手直しをしています。本格的な修復はこれからです。

また、教会や牧師館は福島原発事故による残留放射線のため、手入れが思うに任せずになりました。がこの度教区などに寄せられた義援金をいただけることになり、

除染のため全面的な雑草取り、樹木の伐採などを行いました。その結果放射線量は以前の約半分に低下しましたが、ケヤキや桜など歴史ある樹木が失われたことは大変残念です。また、婦人会員が丹精込めて作り上げてきた自慢の英国風庭園も一からの作り直しです。

9・11の主日には東北教区宣教120周年記念合同礼拝が当教会を会場に捧げられました。この日は大震災発生から1度半年でありこれも記念しました。福島県内や仙台などから61名の参加者があり、会食・懇談の後、聖堂にて「いっしょに歩こう」プロジェクトの活動報告DVD鑑賞、地震発生時刻に合わせて黙祷を行い、この半年を偲び合いました。

(三宅 哲)

(衣料品・生活必需品消費品)、食事・ケーキ等の提供、リフレッシュ、生活相談等。詳細は同本部から各教会・礼拝堂に届いている「協力をお願い」を参照。品物およびボランティア協力申込は用紙に記入して17日までに。申込・照会 & Fax 03(34338) 3633

3・同支援対策本部宛

秋のバザー(2)

10月16日 聖アグネス(10時~14時) 聖アモテ(11時半~14時) 聖アンデレ(11時半~14時半) 聖ペテロ(12時~14時半) 諸聖徒(12時~15時)
10月23日 聖十字(11時半~14時) 14時コンサート(聖ヨハネ(12時~14時半) 聖カプリエル(12時~15時) 聖マーガレット(12時半~15時半))